

総合戦略に登載された数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

基本目標及び主な施策	数値目標・KPI	算定方法	計画策定時A	指標値B	直近の状況C	進捗率・状況
基本目標1 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる	新規雇用数	①		H31:400人	H30:234人	59%
(1)新函館北斗駅及び周辺における雇用の創出	企業立地数(物販店舗等を含む)	①		H31:50社	H30:31社	62%
	雇用増加数	①		H31:300名	H30:223名	74%
(2)北海道新幹線の拠点機能を活かした観光振興	観光入込客数	②	H26:971,019人	H31:1,500,000人	H30:758,100人	△40%
(3)特産品開発と6次産業化の推進	新規開発特産品数(販売額)	①		H31:50品(年間10品)	H30:31品	62%
	一次産品直販施設販売額	②	H26:137,250千円	H31:250,000千円	H30:137,812千円	1%
(4)お客さまをお迎えする	市内宿泊者数	②	H26:28,418人	H31:90,000人	H30:90,600人	101%
(5)二次交通の充実による交流人口の拡大	市内運行の路線バス乗車密度		H26:6.3人	H31:6.3人	H30:6.4人	+0.1人
(6)企業立地による雇用の創出と経済の活性化	駅周辺以外の企業立地数	①		H31:10件	H30:2件	20%
	駅周辺以外の雇用増加数	①		H31:100人	H30:11人	11%
(7)まちをもっと元気にする産業振興	新規就農者	①		H31:10人(年2人)	H30:4人	40%
	新規就業者(漁業者)	①		H31:5人(年1人)	H30:3人	60%
	新規企業・創業者	①		H31:25人(年5人)	H30:11人	44%
基本目標2 北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す	社会動態の均衡		H26:147人転出超過	H31:均衡	H30:55人転出超過	△55人
(1)移住・定住の促進	札幌圏及び道外からの転入者数		H25:532人	H31:700人	H30:479人	△221人
	首都圏との人口移動の均衡化		H26:108人転出超過	H31:均衡	H30:102人転出超過	△102人
(2)政府機関、民間機能の地方移転誘致の推進	市による誘致取組件数	①		H31:2件(政府機関1件、民間1件)	H30:1件	50%
(3)交流人口の拡大	合宿誘致による交流人口数		H26:3,696人	H31:5,500人	H30:4,221人	△1,279人
	茂辺地・石別地区の交流人口数		H26:78,404人	H31:90,000人	H30:84,862人	△5,138人
基本目標3 子どもを生み、育てたいという希望をかなえる	合計特殊出生率	②	H26:1.31	H31:1.55	H30:1.33	8%
(1)子育て支援の推進	出生数		H26:314人	H31:320人	H30:280人	△40人
(2)子どもの力を引き出す教育環境づくり	児童・生徒数		H26:4,216人	H31:3,773人	H31:3,769人	△4人
(3)社会気運の醸成	婚姻率		H26:3.6‰	H31:4.2‰	H30:3.6‰	△0.6‰
基本目標4 住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る	人口		H26:47,769人	H31:46,200人	H30:46,302人	+102人
(1)コミュニティ機能の向上	町内会加入率		H26:84.6%	H31:86.3%	H30:82.2%	△4.1%
(2)市町間連携によるくらしの機能の維持	JR江差線(道南いさりび鉄道)輸送密度		H24:643人	H31:600人台(予測H32:558人)	H30:512人	△88人
	定住自立圏協定に基づく連携項目		H26:8項目	H31:8項目(維持)	H30:11項目	+3項目
(3)都市インフラ・公共施設の延命化	計画的な施設改修による維持管理費の平準化			H31:平準化	H30:平準化	
(4)茂辺地・石別地区の地域振興	茂辺地・石別地区の社会動態の均衡化		H26:22人転出超過	H31:均衡	H30:16人転出超過	△16人

※計画策定時Aは、平成27年12月に数値目標又はKPIの基準とした数値を記載している。

※進捗率の算定方法

① 5年間の累計値を数値目標又はKPIとして達成を目指すもの
$$\text{進捗率}(\%) = \frac{\text{当該年度現状値}}{\text{指標値(H31)}} \times 100$$

② 単年度実績を数値目標又はKPIとして達成を目指すもの
$$\text{進捗率}(\%) = \frac{\text{当該年度現状値} - \text{計画策定時現状値}}{\text{指標値(H31)} - \text{計画策定時現状値}} \times 100$$